

「オープンソース GIS 入門コース」受講生募集

PostGIS+QGIS で始める空間データ解析

講習会概要

世界的規模でオープンソース GIS の開発がここ 4~5 年で爆発的に進んできています。日本でも OSGeoJapan を中心に FOSS4G (空間解析のためのフリーまたはオープンソースのソフトウェア: Free and Open Source Software for Geospatial) の普及が進められています。オープンソースとして提供される GIS ソフトは無料で利用できる場合が多く、そのコミュニティの充実振りは目を見張るものがある一方で GIS を始めたばかりの人や、有料のソフトから乗り換えようという人にとっては依然として取り付きにくいという性格を持つことも否めません。そこでこの講習会では、代表的なオープンソース GIS ソフトウェアの PostGIS と QGIS を使い、ソフトウェアの使い方から GIS データの解析の基礎までを、一步一步丁寧に解説して行きます。

参加者はある程度の GIS の基礎知識があることを想定しています。たとえば、大学や NPO、企業などで GIS を使い始めた方や、現在 GIS ソフトウェアを使っているがオープンソース GIS に興味のある方です。もちろんやる気のある方で事前に独自で勉強してこられる方はどなたでも歓迎です。

主催 NPO法人 地域自然情報ネットワーク (<http://www.geo-eco.net/>)

協力 学校法人東京環境工科学園

講師 今木洋大 (いまきひろお) NOAA, Northwest Fisheries Science Center

参加費 1 日

一般 18,000 円
 学生 11,000 円
 (会員は一般 16000 円, 学生 9000 円)

開催日時

2010 年 3 月 21 日 (日) 9 時~16 時

開催場所

東京環境工科専門学校 3F

〒150-0011 東京都渋谷区東 2-5-3

<http://www.tce.ac.jp>



講師紹介

現在、ワシントン州シアトルの NOAA (米国海洋大気庁) Northwest Fisheries Science Center で GIS による河川環境およびシャケ科の生息地のデータ解析専門家として勤務。1993 年より日本の野生動物の分布・生息地解析に各種 GIS を使うが、2006 年よりオープンソース GIS をデータ解析に取り入れ、現在は主にオープンソース GIS を使い空間データの解析を行う。PostGIS と QGIS を主に使うが、そのほか GDAL・OGR、Python+NumPy によるラスター解析、GRASS、StarSpan、GoogleEarth (KML)、MapScript (MapServer)、GeoServer などを使う。オープンソース GIS と他のオープンソースソフトの連携にも興味があり、統計パッケージ R やスクリプト言語の Python などと組み合わせて PostGIS を利用。ESRI 製品も使う。オープンソース GIS に関する情報を共有するためのジオパシフィック (www.geopacific.org) を主催し、日本におけるオープンソース GIS 特に生態学、自然保護分野での普及を目指す。GIS のほか、自然保護、野生動物管理を専門とする。

問い合わせ先

NPO 法人地域自然情報ネットワーク事務局 (井本郁子)

FAX 03-3260-3795

E-mail: gcn-office@geo-eco.net

(FAX の場合はお返事が遅くなる可能性がありますのでできるだけメールでお問い合わせください。)

申込

NPO 法人地域自然情報ネットワーク事務局まで下記事項を記入し e-MAIL でお申し込みください。

E-mail: gcn-office@geo-eco.net

(E-MAIL が利用できない場合は Fax でご連絡ください。)

確認しだい受付のご連絡をさしあげますので、その後に受講料をお振り込みください。
なお、定員になり次第受付を閉め切らせていただきます。

記入事項

お名前

所属

ご住所

連絡先 E-MAIL

電話 (日中に連絡可能なもの)

注) *会員の方は会員であることを注記してください

**学生 (専門学校を含) でお申し込みの方は学校名と学年等をおねがいします

申し込み締め切り

2010 年 3 月 14 日

講習会内容

はじめに (30分)

- 自己紹介
- GeoPacific.org の紹介、サイト (Plone) の使い方
- オープンソース GIS について
- 講義内容・日程について
- 実習 Windows コマンドラインの使い方

PostGIS と QGIS (30分講義+1時間実習)

- PostGIS とは、QGIS とは
- QGIS の使い方
- GDAL/OGR (OSGeo4W.exe)
- 実習

PostGIS-1 (入門編、30分講義+1時間実習)

- PostGIS と PostgreSQL について (PostGIS とは何か)
- DBMS と SQL (基本的な SQL 構文について)
- PostGIS ジオメトリーと SRS (PostGIS のジオメトリーと空間参照系について)
- PostGIS データの作り方 (一番簡単なジオメトリーを実際に手で作って見る。ポイントデータだけ)
- PostGIS へのデータの取り込み (既存のデータの取り込み方)
- 実習

PostGIS-2 (応用編、30分講義+1時間実習)

- PostGIS による空間情報の検索 (SQL 応用編)
- 空間インデックス
- PostGIS によるジオメトリー操作 (いくつかの基本的なコマンド紹介。intersection, buffer, など実習で使うコマンド)
- PostGIS + x x x (PostGIS とそのほかのオープンソースツールについて。R、python, Google Earth, Geoserver.....)
- 日本語環境について
- 実習

参加条件

この講習会では、各自のコンピュータを持参していただき、講義に続き実際にソフトウェアを使いながら PostGIS と QGIS の使い方を学びます。従って、参加を希望されるかたは以下の条件を確認ください。

- GIS の基礎的な知識がある人（使用ソフトや経験は問いません。ラスター、ベクター、地理参照などの詳しい解説はしません。事前に勉強してこられる方は歓迎です）
- コマンドラインでの操作を厭わない人（今まであまり使っていなくても今後使って見ようという意思のある方は OK です）
- WindowsXP の動く機械に事前に指示に従ってソフトウェアをインストールし、当日それを使用することを想定しています。参加者は各自のラップトップに事前にいくつかのソフトウェアのインストールが可能で、その環境を当日利用できることが必要となります。インストールの詳しい方法は講師のホームページを参考にしてください
(http://www.geopacific.org/opensourcegis/opensource_gis_lectures/class_prep)。XP 以外の環境 (Mac、Linux を含む) の場合は基本的には自分でその環境でのインストール等に対する対応をしていただくこととなります。もちろんできる限り相談には乗ります。インストールに関する問題は、講義が始まる以前に解決したいので事前に講師まで気軽にご相談ください (hiroo@angeli.org)。
- PostGIS は SQL を使うためデータベース (Oracle、PostgreSQL、Access など) についての基礎知識があるほうが望ましいですが、なくても具体的な利用法は講習会の中でお教えします (初歩的な SQL を使います。難しくはありません)
- 講師のホームページ www.geopacific.org にて様々なオープンソース GIS に関する情報をまとめています。興味のある方は事前にいろいろのぞいてみて下さい。

自分はどうかな?と思われる方は気軽に講師に事前にご相談ください (hiroo@angeli.org)

事前にインストールが必要なソフトウェア

すでにインストールしてある方は、古いバージョンでも大丈夫です

- PostGIS ver. 1.3.5
- QGIS ver. 1.4
- GDAL/OGR
- GoogleEarth ver. 5
-

会場のコンピュータ環境

持ち込み機械は LAN にケーブルでつないで頂くこととなります。LAN ケーブル接続可能
が不可能な場合は事前にすべてのソフトウェア、データと教材をダウンロードしていただくこととなります。その旨申し込みの際お伝えください。

募集人数 20 人